

**第6次杉戸町総合振興計画
後期基本計画等策定支援業務委託
ワークショップ開催結果
報告書**

令和6年9月

杉 戸 町

目 次

1. ワークショップの概要.....	1
(1) 趣旨・目的.....	1
(2) 実施概要・プログラム.....	1
■10代ワークショップ.....	1
■町民ワークショップ.....	1
■子育て世代ワークショップ.....	2
■事業所ワークショップ.....	2
2. ワークショップ結果概要.....	3
■10代ワークショップ.....	3
■子育て世代ワークショップ.....	7
■事業所ワークショップ.....	9
3. ワークショップ結果詳細.....	10
(1) 10代ワークショップ.....	10
■各班結果.....	10
■当日の様子.....	19
■各班結果.....	21
■当日の様子.....	26
(3) 子育て世代ワークショップ.....	28
■各班結果.....	28
■当日の様子.....	34
(4) 事業所ワークショップ.....	36
■結果.....	36
■当日の様子.....	38
4. 資料編.....	39
(1) 10代ワークショップ.....	39
(3) 子育て世代ワークショップ.....	47
(4) 事業所ワークショップ.....	50

1. ワークショップの概要

(1) 趣旨・目的

町では、令和3年3月に策定した第6次杉戸町総合振興計画（計画期間：令和3年度～令和12年度）に基づき、まちづくりを推進しています。この計画は、来年度で策定から5年を経過し、折り返し地点に差し当たるため、現在見直しを行い、新たに「第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画」の策定に取り組んでいます。

この後期基本計画策定にあたり、町民から幅広く意見を聴取し計画に反映するため、町民・子育て世代・10代（高校生）・事業所の4つの属性別にワークショップを開催しました。

(2) 実施概要・プログラム

■10代ワークショップ

日時	令和6年7月24日（水）
募集方法	公募
会場	ココティすぎと 多目的室
参加者数	18名
内訳	5名（昌平高等学校） 4名（埼玉県立杉戸農業高等学校） 9名（埼玉県立杉戸高等学校）
プログラム	1.はじめに 2.町を取り巻く環境について（ミニ講義） ・杉戸町の人口動態、人口推計、産業、財政等について ・アンケート調査結果（抜粋） 3.意見交換 ①杉戸町の現状・魅力・課題についての意見出し ②将来像について ③「やりたいこと」「必要な取り組み」について 4.全体発表・シール投票 5.全体総括・おわりに

■町民ワークショップ

日時	令和6年8月24日（土）
募集方法	公募
会場	ココティすぎと 多目的室
参加者数	10名
プログラム	1.はじめに 2.町を取り巻く環境について（ミニ講義） ・杉戸町の人口動態、人口推計、産業、財政等について ・杉戸町総合振興計画とは ・協働の重要性について

	・アンケート調査結果（抜粋）について 3.意見交換 ①杉戸町の現状・魅力・課題についての意見出し ②将来像について ③必要な取り組み、協働の検討 4.全体発表・シール投票 5.全体総括・おわりに
--	---

■子育て世代ワークショップ

日時	令和6年9月7日（土）
募集方法	公募
会場	ココティすぎと 多目的室
参加者数	15名（うち子ども6名）
プログラム	1.はじめに 2.町を取り巻く環境について（ミニ講義） ・杉戸町総合振興計画とは ・杉戸町の概要（人口動態、出生数、転出入） ・アンケート調査結果（抜粋） 3.意見交換 ①杉戸町の現状・魅力・課題についての意見出し ②将来像について ③必要な取り組み、協働の検討 4.全体発表・シール投票 5.全体総括・おわりに

■事業所ワークショップ

日時	令和6年9月11日（水）
募集方法	公募
会場	ココティすぎと 多目的室
参加者数	3名
プログラム	1.はじめに 2.町を取り巻く環境について（ミニ講義） ・杉戸町総合振興計画とは ・杉戸町の概要（人口動態、転出入、町内産業の特徴等） ・アンケート調査結果（抜粋） 3.意見交換 ①杉戸町の現状・魅力・課題についての意見出し ②将来像について ③必要な取り組み、協働の検討 4.全体総括・おわりに

2. ワークショップ結果概要

■ 10代ワークショップ

① 10代の皆さんから見た現状（生活について）

「良かったな」「自慢できるな」と思ったこと	「困ったな」「残念だな」と思ったこと
○交通 ・東京までのアクセスが良い	○交通 ・電車、バスの本数が少ない ・東武動物公園駅周辺が混雑している ・JR 線がない ・下校時間帯に関宿中央ターミナル行きが少ない
○自然・環境・災害 ・自然豊か ・川がきれい ・排気ガスが少なく空気がきれい ・水害被害が少ない ・閑静で落ち着いている	○遊び場・公園 ・放課後や休日に遊べるお店が少ない ・子ども向けの公園が少ない ・総合体育館がない ○道路 ・歩道が狭い箇所があり危険 ・道がせまく、田んぼに落ちてしまうことがある ・道路に凹凸があり、整備が追い付いていない ・道路にミラーのない箇所があり危険 ○居住環境 ・地域により住む場所が偏っている ○防犯 ・街灯が少ないため、暗く危険 ○工業団地 ・工業団地周辺のおいが気になる
○地域交流 ・地域内での交流が多い ・田植え体験ができる	
○勉強 ・図書館が広い ・放課後や休日に自習できるスペースが多い	
○商業 ・古民家をリノベーションしたお店や個人経営のお店が沢山ある ・飲食店が多い ・買い物の便が良い	
○健康づくり ・元気高齢者が多い	○病院 ・小児科のある医療機関が少ない
○観光 ・杉戸宿に観光客が訪れる ・お米関連の名産品が多い	○PR ・町の取り組みを発信に SNS を活用しきれていない ・もっとかわいいうゆるキャラがよいのでは
	○少子化 ・若者が少ない

② 「やりたいこと」「必要な取り組み」について

課題を解決するために、「自分たちが出来ること」や「市・学校・団体・地域・身近な大人に支援して欲しいこと」⇒ 発表されたアクションの中で興味深いものにシールで投票（1人につき持ち票2票★★）

分野	アクション	シール投票
情報発信・PR	・ 町内のおすすめスポットや情報を SNS で発信する	★★
	・ 生徒がイベントのポスター等を作成する	
	・ 杉戸町のよさが伝わるホームページを作成する	
	・ インフルエンサーとコラボして SNS で PR する	
	・ 町おこしの PR をする	★★★★
イベント	・ 図書館等で若者（10代～20代）を対象とした交流会を開催する	
	・ 町内全体が参加可能な体育祭	
	・ 押し会	★★★★★
	・ どんな世代でも楽しめるドッチビー大会	★
	・ スイカ割り	★★
	・ 町内企業で職場体験を行い	
	・ ボランティアとしても参加したくなるようなイベントや学生主体でイベントを定期的に運営する	
	・ 夏祭りに高校生の部があると良い	★★★★
	・ 高校の文化祭で地域の事業を取り入れる	★★★★★ ★★
施設、空き家活用	・ 廃校となる学校を利用してキャンプ場を作る	★★★★★ ★★★★★ ★★★★
	・ 空き家をリノベーションし飲食店にする	
交通	・ バスの路線を増やす	
自然	・ 農業体験	
	・ 学生主体の環境保全ボランティア	
起業支援	・ 杉戸町は起業しやすいということをアピールしてもらう	
	・ 交流、話し合いできる環境を整える	
学校	・ 小中高のつながりを大切にする	
	・ 学生がアイデアを出しあい、新しいゆるキャラをつくる	
	・ 高校生が町おこしを行う	
	・ 学校内で企画し地元の特産品をつくる	
	・ SNS で目に留まるようなものを合同で考える	
	・ 学校主体（学校間交えて）で営業活動を行う	

■町民ワークショップ

① 皆さんから見た現状（生活について）

「良かったな」「自慢できるな」と思ったこと	「困ったな」「残念だな」と思ったこと
○行政について ・町役場が町民のアイデアを積極的に取り入れたり、協力・応援してくれる ・面白い企画を行っている（今日、すぎとをのっとりたい人募集）	
○子育て ・公共の幼児保育体制が充実している（町内に4つも保育園がある）	○子育て ・預かり保育が充実していない
○町民 ・地域コミュニティが強い ・潜在的に活動したい、協力したい人が多い ・おっとりした気質の人が多い ・自主的に活動する人が多い	○町民 ・向上心が弱い人が多い
○居住環境 ・犯罪率が少なく治安が良い ・高齢者施設が多い、高齢者が住みやすい ・地価が安い ・持ち家が多い ・自然が豊か ・災害が少ない	○治安 ・空き家が多い ・街灯がなく夜道が暗い
○イベント・観光地 ・キャンドルナイトを行っている ・アグリパークがある	○知名度 ・町の知名度が薄い ○産業 ・就業場所が少ない ・農地規制が厳しい ・若者が活動する場が少ない ・企業支援体制が弱い ○商業・観光 ・観光地となりそうな魅力のあるお店や施設が少ない
○利便性 ・食材など買い物する場所が多い ・交通の便が良い	○交通 ・駅への道が渋滞しており不便 ・駅のロータリーが混雑している
	○地域活動 ・町民活動を支える町の体制が不十分なため、伴走型支援が必要
	○福祉 ・総合病院が無い

② 「やりたいこと」「必要な取り組み」について

課題解決するために、「自分たちが出来ること」や「地域・団体・組織で協力できること」

⇒ 発表されたアクションの中で興味深いものにシールで投票（１人につき持ち票２票★★）

分野	アクション	シール投票
教育機関との連携	・町内にスポーツの強豪校があるため、スポーツで活性化や町の知名度向上を図る	★★★★
元気高齢者の活躍	・65歳以上も雇用する ・（病院や施設を増やし）介護予防対策を進める	★
地域コミュニティ	・居住歴の長い人と新しく転入してきた人との交流を増やす ・地域や近隣の人の課題を自分事ととらえ、地域共生社会を実現させる ・挨拶や声掛け、ながら見守りを心がける	
産業	・リターンなどで働きに戻れる町を目指す ・特徴のある会社（キャンピングカー製造会社）を活かす ・企業支援に力を入れる	★
アグリパークとのコラボ	・アグリパーク周辺の周遊性を向上させる、アグリパークの周りの施設と共同でイベントを開催する ・アグリパーク内にメディア FM すぎとを作り、杉戸町の情報を発信する施設とする	
PR 発信	・町の公式 YouTube チャンネルや SNS を開設し情報を発信する	★★
道路整備	・旧道４号と４号バイパス間の道路を整備する	
すぎと野菜の活用	・すぎと野菜をブランド化し、発信する ・町内の飲食店とコラボする ・すぎと野菜にネーミングライツをする ・すぎと野菜をふるさと納税の返礼品にする ・農業高校と連携し、新種を開発する ・新規就農者をグループ化する	★★★★ ★ ★ ★
事例研究	・近隣の自治体を参考とするため、他自治体をめぐるバスツアーを行う	★

■子育て世代ワークショップ

① 皆さんから見た現状（生活について）

「良かったな」「自慢できるな」と思ったこと	「困ったな」「残念だな」と思ったこと
○居住環境 ・食材を買いに行ける場所が多い ・治安が良い ・自然が豊か ・広い土地を持てる	○居住環境 ・車がないと不便 ・バスの本数が少なく不便 ・地区によって買い物する場所が無い ・空き家が増えている ・災害時に避難する場所が低地なため不安
○町民の人間性 ・人柄がよい人が多い	
○子育て ・待機児童が少ない ・保育園が多い ・病児保育が利用できる	○遊び場 ・整備されていない公園がある ・遊具が設置されている公園が少ない ・運動施設がない ○体験制限、子どもの居場所 ・プールの授業がない ・習い事の選択肢が少ない ・学校にいけない場合、カルスタすぎと等に行きたいが親の送迎が必須なため、通うことが難しい時がある
○教育機関 ・小学校から高校まで授業内容の連携が取れている ・職場体験や農業体験がある	○学校関係 ・給食の量が足りないのではないかと思います ・通学路が分かりにくい ・学校が統合され、通学が遠くなってしまう
○子育て施設 ・児童館が複数あり遊べる	
○医療費助成 ・医療費の助成があり助かった	
	○観光 ・宿場町だが宿がない

② 「やりたいこと」「必要な取り組み」について

課題を解決するために、「自分たちが出来ること」や「地域・団体・組織で協力できること」

分野	アクション
情報発信	・ 保育園の掲示板など普段から目にする場所や子育て世代が主に出向く場所でイベント情報を掲載する
	・ アプリ（スグール）で発信する
	・ HP だけでは気づかない可能性があるため、SNS で情報を発信する
	・ 習い事や遊び場、野菜販売箇所などのマップを作成する
	・ 町内に自由掲示板を設置し、情報を交換する
体験の充実	・ 久喜や春日部のプール施設まで送迎を行う
交通	・ バスの本数を増やす
	・ 学生はバスの乗車を無料とする
	・ 子どもの送迎で、他の親に送迎をお願いする乗り合いシステムを可とする
	・ 用事があり車を出すとき、近所の高齢者も一緒に車に乗せるような乗り合いサービスを可とする
イベント	・ 子どもを中心としたイベントを開催する
	・ 時間があるときに気軽に参加できる仕組みづくり
ボランティア	・ 有償ボランティアとして、杉戸ポイントを付与する。杉戸ポイントが貯まると、花火がよくみえる席や杉戸産の米、野菜、おかし、タクシー券の補助、バスの補助チケットと交換できる制度とする

■事業所ワークショップ

① 皆さんから見た現状（生活について）

「良かったな」「自慢できるな」と思ったこと	「困ったな」「残念だな」と思ったこと
○居住環境 ・自然豊か ・人口が少なくコンパクトで住みやすい ・子育てしやすい	
○町・町民について ・魅力的でやる気のある人が多い ・元気な高齢者がたくさんいる ・若い人が挑戦できる ・開拓の余地がたくさんある	
	○商売 ・専門店が減っている ・後継者が不足している ・商店会は長い間メンバーが同じで、高齢化しているため活気がない

② 「やりたいこと」「必要な取り組み」について

課題を解決するために、「自分たちが出来ること」や「地域・団体・組織で協力できること」

ジャンル	アクション
場づくり	・年齢にかかわらずいつでも集まり交流できる場所があると良い。交流が仕事につながる
観光	・杉戸町をめぐるツアーがあると良い
商業	・個人店同士のコラボ（古民家で八百屋の野菜を売るなど） ・個人店は大型店と差別化するため、対面での接客を重視するなど対策する
企業支援・職場体験	・起業・副業、店舗兼住宅活用の支援 ・空き家や空き店舗は多いが、知らない人に貸したがない傾向があるため、仲介を行政が行う ・小学生から職場体験

3. ワークショップ結果詳細

(1) 10代ワークショップ

■各班結果

1 班

① 10代の皆さんから見た現状（生活について）

「良かったな」「自慢できるな」と思ったこと	「困ったな」「残念だな」と思ったこと
【電車】 ・ 東京まで電車1本で行ける ・ 駅の構内がきれい	【電車少】 ・ 電車の本数が少ない
【アクセス良】 ・ 学校が駅から近い	【道路環境が悪い】 ・ 図書館へのアクセスがあまり良くない（道が入り組んでいる） ・ 大きな道でも歩道が狭いところがある ・ 道がせまい ・ 道ガタガタ ・ 道路の環境が悪い ・ 田んぼに落ちちゃう
【自然】 ・ 自然が豊か ・ 緑が多い ・ 自然豊か	
【交流できる】 ・ アグリパーク ・ ゆめすぎと ・ 地域の交流が多い ・ 田植体験	
【居場所・自習スペース】 ・ 放課後や休日に自習ができるスペースが多い ・ 図書館が大きい ・ 図書館 ・ 高校内	
	【病院少ない】 ・ 小児科を設けている医療施設が少ない 【あそび場少】 ・ お店が少ない

② 将来像（メンバーが考えたキーワードから抽出したグループキャッチフレーズ）

・ 防犯や治安に安心して明るい ・ イベントが開かれて活気あるまち ・ 若者も楽しめるしせつがあるまち

メンバーが個々に考えたキーワード

- ・車・自転車がなくても不自由なく生活できる町
- ・地元で働くという選択をとりやすい町
- ・子どもと安全に暮らせる自然が豊かな町
- ・若者と高齢の人達の交流が盛んな町
- ・“帰ってきたいと思う町”
あえて今ある自然を残す
都会のように便利さにあふれてなくてもいい
- ・埼玉県の小さな forest のような町
- ・商業しせつの多い町
- ・ほんの小さな気づきがあふれ出る“豊か”な町

子どもと安全に暮
らせる自然が豊かな町。

若者と高齢の人達の
交流が盛んな町

“帰ってきたいと思う町”

商業しせつの多い町

あえて今ある自然を残す
都会のように便利さにあ
ふれてなくてもいい

埼玉県の
小さな forest
のような町

(ほんの小さな気づきが
あふれ出る“豊か”な町。

車・自転車がなくても不自由なく
生活できる町

地元で働く いう選択を
とりやすい町

③ 「やりたいこと」「必要な取り組み」について

課題を解決するために、「自分たちが出来ること」や「市・学校・団体・地域・身近な大人に支援して欲しいこと」

⇒ 発表されたアクションの中で興味深いものにシールで投票（1人につき持ち票2票★★）

【発信】

- ・ SNS を使い宣伝する（★）
- ・ イベントのポスターを作る
- ・ 町内で見つけたおすすめのスポットやおいしいものを SNS で発信する（町内のスポットをマップにしてみる！）
- ・ かわいいデザインのポスター 駅などに
- ・ 生徒がポスター作成
- ・ 町の情報を SNS で発信（スタンプラリー）（★）

【イベント】

- ・ 町の人が参加できる体育祭
- ・ あいさつが出来る
- ・ 毎週（もしくは毎月）図書館などで 10～20 代を対象とした交流会を開催する
- ・ つなひき
- ・ ゲートボール
- ・ 昔遊びを地域の人におしえてもらう
- ・ ドッチビー大会 どんな世代も楽しめる（★）
- ・ ハンドメイド作品づくり
- ・ 推し会（★★★★★）
- ・ 流しそうめん
- ・ キャンプファイヤー
- ・ スイカ割り（★★）→ボランティアでも参加したい
- ・ 職場体験 仕事や地域についても知れる

■模造紙記録



2班

① 10代の皆さんから見た現状（生活について）

「良かったな」「自慢できるな」と思ったこと	「困ったな」「残念だな」と思ったこと
【安心】 ・ 水害被害が少ない	
【勉強スペース】 ・ 勉強するスペースが増えた（ココティなど）	【図書館】 ・ 図書館遠い
【自然】 ・ 自然が豊か（虫の泣き声、花、植木）	【交通・道路環境】 ・ 杉戸高野台駅は、駅舎が古い（年季がある） ・ 東武動物公園駅は、駅周辺が混雑している ・ JR が通っていない ・ 交通の便が悪い ・ 歩道がない道が多い ・ 道がせまい ・ ミラーがない所がある ・ 信号が少ない
【個性店】 ・ 古民家をリフォームしたハンバーガー屋さんがおいしい ・ 個人経営などの行きやすいお店がたくさんある	
【平和】 ・ 寄るところが無いのが逆に良い！ ・ 閑静で落ち着いている	
【健康づくり】 ・ 高齢の方々が元気 ・ ベンチが多い	
	【居住場所】 ・ 住む場所がかたよっている
	【公園】 ・ 公園が少ない 子ども＋若者 ・ 総合体育館がない

② 将来像（メンバーが考えたキーワードを抽出したグループキャッチフレーズ）

すべての世代が「自然 forest」の中で「はたらける商業充実」「交流・気づかい」を通して、豊かに暮らし続けることができ、活かすまち

メンバーが個々に考えたキーワード

- ・ インフラが整っている町
- ・ インフラ整備化
- ・ 杉戸の特産物店でにぎわう町
- ・ 交通の便で困らない町
- ・ 誰でも自由に農業体験（農家さんの手伝い）できる町
- ・ 地域の人との交流が活発な町

- ・ 空気が良くて治安がいい町
- ・ 教育環境が整っている町
- ・ 買い物の便がいい町
- ・ 杉戸の人々が協力して地域の人たちと交流ができるまち
- ・ 町の良さを聞かれてもすぐに答えられる
- ・ 不安や心配が少ない町
- ・ 税金が低く、給料が高く、働きやすい町

杉戸の人々が協力して地域の人たちと交流ができるまち

・ 地域の人との交流が盛んな町
 ・ 空気が良くて治安がいい町
 ・ 教育環境が整っている町
 ・ 買い物の便がいい町

・ 町の良さを聞かれてもすぐに答えられる
 ・ 不安や心配が少ない町

税金が低く、給料が高く、
 働きやすい町

・ 税金低い、
 ・ 給料高い、
 ・

インフラが
 整っている町

インフラ
 整備化

杉戸の特産物店で
 にぎわう町
 交通の便で困らない町
 誰でも自由に農業体験(農家の手伝い)
 できる町

③ 「やりたいこと」「必要な取り組み」について

課題を解決するために、「自分たちが出来ること」や「市・学校・団体・地域・身近な大人に支援して欲しいこと」

⇒ 発表されたアクションの中で興味深いものにシールで投票（1人につき持ち票2票★★）

【交通】

- ・ バスの路線を増やす

【廃校活用】

- ・ 廃校となる学校を利用してキャンプ場などを作る（★★★★★★★★★★★★★★★）

【継続系イベント】

3班

① 10代の皆さんから見た現状（生活について）

「良かったな」「自慢できるな」と思ったこと	「困ったな」「残念だな」と思ったこと
【商業】 ・学校のすぐ近くにベルクスやダイソーがある ・買い物が便利！ ・美味しいご飯屋さん多い！！ ・おいしい飲食店がある	
【自然・環境】 ・川がきれい ・川のまわりの雰囲気！ ・空気がきれい ・排気ガスが少ない	【工業団地】 ・工業団地たまににおう ・工業団地がにおう
【観光・名産品】 ・杉戸宿 ・町外の人が杉戸宿に来る ・お米の食べ物たくさん ・お米、せまきせんべいとかある	【PR】 ・SNSを活用できている？ ・若者はSNSから情報を入れている ・町のとりくみが足りない ・おすすめに出てこない！ 【ゆるキャラ】 ・ゆるキャラそんなにかわいくない ・もっとかわいいキャラ
【施設】 ・大きなグラウンドがある ・テニスコート奥手のグラウンド等	
	【少子化】 ・若者の転入が少ない ・若者の人口が少ない ・若者が少ない
	【防犯】 ・あかりが少ない ・街灯が少ない、暗く危険
	【交通】 ・電車が20分に1本しかこない（杉戸高野台） ・（日光線）部活帰りで困る！ ・バスの本数が少ない ・関宿中央ターミナル行き少ない。帰りの時間

② 将来像（メンバーが考えたキーワードを抽出したグループキャッチフレーズ）

・交通インフラ ・働きやすい ・農業体験できる ・教育環境
--

- ・買い物
- ・特産品
- ・町の良さを答えられる
- ・交流
- ・空気の良さ

メンバーが個々に考えたキーワード

- ・犯罪や災害の心配がないまち
- ・商店や企業に活気があるまち。イベントが盛んなまち
- ・道路や交通の利便性が高いまち
- ・犯災や事故の少ないまち
- ・医療体制の整っているまち
- ・お店の多いまち
- ・地域交流が盛んなまち
- ・道路や交通などの利便性が高いまち
- ・お店へのアクセスが良いまち
- ・若い世代も住みやすいまち
- ・健康でいられるまち
- ・道がきれいで広いまち
- ・夜でも暗いところが少ないまち
- ・どんな患者でもすぐに対応して健康でいられるまち
- ・老若男女問わずにだれもが協力したり一つのことを一緒に取り組めるまち
- ・10代、20代のニーズにもしっかり応えられるシステムのあるまち
- ・流行のものを取り扱うお店や、中高大学生が楽しめる商業施設など
- ・スーパーなどにアクセスしやすいまち
- ・子育てしやすいまち
- ・生活環境が整っているまち

・犯罪や災害の心配がないまち
 ・商店や企業に活気があるまち → イベントが盛んなまち
 ・道路や交通の利便性が高いまち

・犯罪や事故の少ない町
 ・医療体制の整っている町
 ・お店の多い町
 ・地域交流が盛んな町
 ・道路や交通などの利便性が高い町

・お店へのアクセスが良いまち
 ・若い世代も住みやすいまち
 ・健康でいられるまち

・道がきれいで広いまち
 ・夜でも暗いところが少ないまち
 ・どんな患者でもすぐに対応して健康でいられるまち
 ・老若男女問わずにだれもが協力したり一つのことを一緒に取り組めるまち
 ・10代、20代のニーズにもしっかり応えられるシステムのあるまち
 ・流行のものを取り扱うお店や、中高大学生が楽しめる商業施設など

- ・スーパーなどにアクセスしやすい町
- ・子育てしやすい町
- ・生活環境が整っている町

③ 「やりたいこと」「必要な取り組み」について

課題を解決するために、「自分たちが出来ること」や「市・学校・団体・地域・身近な大人に支援して欲しいこと」

⇒ 発表されたアクションの中で興味深いものにシールで投票（1人につき持ち票2票★★）

【周知・PR】

- ・町の差を PR
- ・SNS の活用。今のものも PR
- ・杉戸町の良さがわかるホームページを作る
- ・インフルエンサーと協力して SNS 活動を活発にする
- ・インフルエンサーとコラボする

【起業支援】

- ・町で起業しやすいアピールしてもらう（SNS でも可）
- ・起業しやすい！
- ・交流
- ・話し合いができる環境

【農業】

- ・困っている農家さんと農業体験したい人をつなぐ
- ・農業体験、SNS

【学校】

- ・小中高のつながり、特に中高のつながり
- ・小中高でアイデアを出してゆるキャラをつくる
- ・高校生が町おこし
- ・町内に高校が3つあるので活用する

【空き家】

- ・空き家のリノベーション
- ・空き家の活用、飲食店にする

【イベント】

- ・夏祭り、高校生の部があると良い（★★★）
- ・高校の文化祭で地域の事業を取り入れる（★★★★★★★）
- ・町おこしの PR（★★★）

■模造紙記録



■当日の様子

・全体、ミニ授業



・グループワーク





・各班発表、シール投票、全体写真



(2) 町民ワークショップ

■各班結果

1 班

① 杉戸町の現状

杉戸町の魅力（強み）	「困ったな」「残念だな」と思ったこと
【町民×行政が協力しやすい】 ・アイデアに耳を傾けて、協力・応援してくれる ・「今日、すぎとをのっとりたい人募集」など面白い企画を行っている ・町のことを学べる場が多い	
【子育てしやすい】 ・幼児保育公共の充実 ・県内でも珍しく、町立の保育園が4つある	【子預かり】 ・子どもを預けるサービスが不足している。預かり保育が充実していない
【アグリパーク道の駅】 ・アグリパークの知名度がある。20年前からイベントも開催	【産業】 ・町内に働く場所が無い ・農地規制がきびしい ・税確保のため、工業団地・企業誘致した方が良いのでは ・若者が活動する場が少ない
【地域性・人間性】 ・コミュニティが素晴らしい ・持ち家が多い ・犯罪率が少ない ・潜在的に活動したい、協力したい人が多い ・町民の気質がおっとりしている ・町民運動会を行っているなど、自治会も活発 ・助け合いの雰囲気がある	【人間性】 ・向上心が弱い人が多いのでは
【イベント】 ・キャンドルナイトなどのイベントを行っている	【商業・観光】 ・魅力的なお店、施設がない
	【町の知名度】 ・知名度がない
	【空家】 ・空家問題

② 将来像（メンバーが考えたキーワードから抽出したグループキャッチフレーズ）

「産業・子育て・若者・高齢者が活躍でき、ふるさと愛を育みかがやけるまち」
メンバーが個々に考えたキーワード
・他にない農技術を発信する ・それぞれに輝く場所がある。働く場所など ・子育て充実の町、子育て支援ネットワーク ・高齢者が輝ける町へ ・新しい

- ・宿場街
- ・若者が活躍する
- ・全世代が輝ける場所
- ・自信が持てるふるさと
- ・東、中央、西と各地域の特徴を生かす

③ 課題解決、将来像実現のために「自分たちが出来ること」や「地域・団体・組織で協力できること」

⇒ 発表されたアクションの中で興味深いものにシールで投票（1人につき持ち票2票★★）

【高齢者活躍】

- ・65才以上を雇用する（★）
- ・病院や施設の介護予防をもっと増やす

【高校活用】

- ・昌平高校は野球部が県大会出場しており、サッカー部も強豪
- ・高校スポーツで知名度向上
- ・高校スポーツで活性化（★★）
- ・昌平高校を生かす（★★）
- ・高校とのコラボ

【つながる】

- ・昔から住んでいる人、新しい人とのつきあいを向上していく
- ・産業やにぎわいUP

【特徴ある製造業】

- ・働きに戻る町に（★）
- ・町内にキャンピングカー製造会社がある

【アグリパークとコラボ】

- ・キャンピングカーのイベントをアグリパークで行う
- ・アグリパーク周辺の周遊性を向上させる
- ・アグリパーク周りの他の建物と一緒にイベント開催
- ・点を線にさせる発信型施設として、メディアFMすぎとを作る

【町のPR発信】（★）

- ・YouTube 公式チャンネルで発信する（★）
- ・Tik TokなどのSNSで発信する
- ・発信型のメディアを市が立ち上げ発信する

【道路整備】

- ・旧道4号と4号バイパス間の道路整備

【町へ訪れる人を増やす】

- ・動物公園駅の力を利用する

【すぎと野菜のブランド化】（★★★★）

- ・すぎと野菜をさらに発信
- ・アグリパークでの販売
- ・町内の飲食店とのコラボ（★）
- ・学校給食への取り込み
- ・すぎと野菜にネーミング

2班

① 杉戸町の現状

杉戸町の魅力（強み）	「困ったな」「残念だな」と思ったこと
【買い物の便が良い】 ・スーパーが多く、食品を購入するのに便利	【産業】 ・創業支援の体制 ・商店が少ない
【居住環境】 ・住みやすい町 ・高齢者が住み易い ・高齢者施設が多い ・地価が安い ・人口減少が課題とされているが、人口が多ければ良いわけではない。 ・年寄りが1番住みやすい街	【空家・防犯】 ・空き家が目立ってきた ・夜、街灯がなくて暗い ・旧日光街道暗い 【福祉】 ・総合病院が無い ・東埼玉病院が幸手に
【町民が活発】 ・町民の自主的な活動が盛んになっている（若い人が元気）	【地域活動】 ・自立した町民活動の支持体制 ・伴走型の支援が必要 【活気】 ・町内の就労や就学先に若者が魅力を感じない
【自然】 ・農業・農地・自然が豊か ・川水きれいになった	【自然】 ・緑が未だ少ない
【交通】 ・交通の便が良くなった	【交通】 ・公共交通の整備（新しいシステム） ・駅への道が（進むのが遅い）混んでいて不便 ・駅のロータリーが混む！動物公園東口
【災害面】 ・災害が少ない	【災害】 ・災害対策が重要
	【行政】 ・町が町民の意見を聞く姿勢がない

② 将来像（メンバーが考えたキーワードから抽出したグループキャッチフレーズ）

・子育てがしやすい町 ・高齢者にやさしいまち、子育てにやさしいまちを協働で実現 ・もう少し緑の多い街になって欲しい。緑だけでなく大きい公園等も整備されると良い ・笑顔の多い人のまち ・自然が多く子育てがしやすいまち ・高齢者にやさしいまちが子育てにやさしいまちにつながる ・通りの植栽がもっと良くなるといい

③ 課題解決、将来像実現のために「自分たちが出来ること」や「地域・団体・組織で協力できること」

⇒ 発表されたアクションの中で興味深いものにシールで投票（1人につき持ち票2票★★）

- ・（参加する人の費用もちでよい）この近隣の市町村いくつかの町を参考にするためにバスツアーを行い、（興味のある人だけでも）見学するツアーを盛んにすると良い（★）
- ・他のまちのことを学ぶ機会があると良い
- ・（具体的なこと）町の討議に、一部の人だけの意見になっちゃうから、アンケートをとったらいいいんじゃないかと思う（年齢もそれぞれの年代）
- ・多くの人からアンケートをとると良い
- ・あいさつや声かけを進んで行く
- ・個々をつなぐ
- ・地域団体のお仕事
- ・地域共生社会の実現 自分ごととして考える
- ・自分で出来ることをやる
- ・自然が豊かなので、川で釣りの指導を行う取り組みがあると良い
- ・このまちで創業する人にチームで伴走する
- ・まちのプロジェクトと寄付（ふるさと納税）で協力する
- ・ふるさと納税の使い道を指定できる（★★）

■模造紙記録

2 班

①杉戸町の現状

杉戸町の魅力 (強み)

杉戸町の現状 (弱み)

②将来像 (グループのキャッチフレーズ)

将来像 (個人のご意見)

③課題解決、将来像実現のために「自分たちでできること」や「地域・団体・組織で協力できること」

■当日の様子

・グループワーク



・各班発表、シール投票、全体写真





(3) 子育て世代ワークショップ

■各班結果

1 班

① 杉戸町の現状

杉戸町の魅力（強み）	「困ったな」「残念だな」と思ったこと
【ほどよく住みやすい】 ・ほどよく田舎（さわがしくない、アクセス〇、買い物〇） ・自宅からスーパーが近いので便利（飲食店も） ・治安が良い ・自然が多い	【公園が少ない】 ・公園の整備があまりされていない ・草が生い茂っている ・公園の遊具、アスレチックが少ない ・町の運動施設がない 【治安】 ・空き地・空き家が増えている。不法投棄も増加している。 ・まわりに空き家が多いので不安 ・野焼きの臭いが気になる
【土地が広い】 ・庭つき戸建てが叶う	
【人間性・人柄】 ・人柄がいい人が多い ・ママ友に助けてもらえる	
【保育園に入りやすい】 ・待機児童が少ない ・保育園が多いので入りやすい	【子どもの居場所】 ・子供が学校に行けない ・親の送迎が必須だと、本人が行きたくても連れて行けない事もある（カルスタ等） ・仕事をしている親は、祖父母がいないと子育てが厳しい
【小中高のつながり】 ・小・中・高での連携が取れている授業内容 ・農業高校でのなし作り ・中学生の職業体験で小学校に行ったりできる	【体験制限】 ・習いごとの選択肢が少ない（プール等） ・中学校でプールの授業がない
	【交通不便】 ・車がないと不便 ・バス・バス停が少ない ・特にバスの交通の便が悪い ・町外に行けないため、乗り入れ制度があると良い ・車がないと生活できない ・場所によって買いものする場がない

② 将来像（メンバーが考えたキーワードから抽出したグループキャッチフレーズ）

・自然あふれる中で、体験を通してゆたかに子どもと親が笑って育つまち

メンバーが個々に考えたキーワード

- ・自然がゆたかで色々な事にチャレンジできる町
- ・生涯、文化・スポーツを楽しめるまち
- ・リスク・利益より思いやり
- ・子どもたちひとりひとりが心ゆたかに育てる町
- ・子どもが笑って育つ町
- ・のびのび広い
- ・習い事情報
- ・サークル情報
- ・自然の中でのびのび
- ・地域の結び付き（異なる年代と交流できる）
- ・自由販売活用される

③ 課題解決、将来像実現のために「自分たちが出来ること」や「地域・団体・組織で協力できること」

【情報発信】

- ・マルシェ・子ども食堂の情報を保育園などの掲示板や、普段目にする場所、子育て世代が行く場所（保育園）で発信する
- ・アプリで（スグール）発信
- ・習い事情報を SNS（X、インスタなど）で発信
- ・習い事・遊び場・産直売場（無人販売）の MAP を作成し LINE、インスタで配布する
- ・HP だけだと見ない
- ・個人の取り組みを町で発信する
- ・町の HP に自由に掲示できるものを作り、各種情報の提供を行う
- ・各個人、民間企業のイベント情報の公開

【プール】

- ・久喜・春日部のプールに送迎バスを出してほしい

【バス】

- ・バスの時間を増やす
- ・バスは学生無料、大人有料とする
- ・通級も含めてスクールバスの的なものがあると良い（教習所のバスみたいな）
- ・町民同士空いてる人が車を出して乗せてあげるサービスを行い、高齢者や色々な人と乗り合いする。多世代交流にもつながる
- ・ファミサポでは乗り合い可能なため、枠を広げる

【公園管理】

- ・官民一体で公園管理体制を作る
- ・倉松公園の川を復活させる

【ワケあり農業体験 by 個人】

- ・農業体験で規格外野菜を収穫できる取り組みを行う
- ・規格外野菜や包装が適当な野菜でも販売 OK とする

【子ども中心のイベント】

- ・地域の集まりを子ども中心にする（たとえばフリーマーケットとかスポーツイベントでも）
- ・うすフェス



2班

① 杉戸町の現状

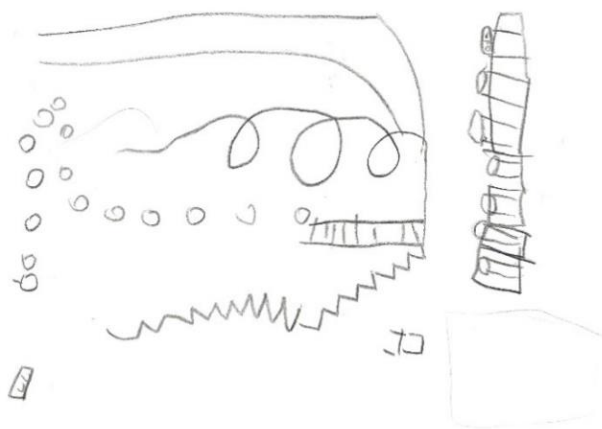
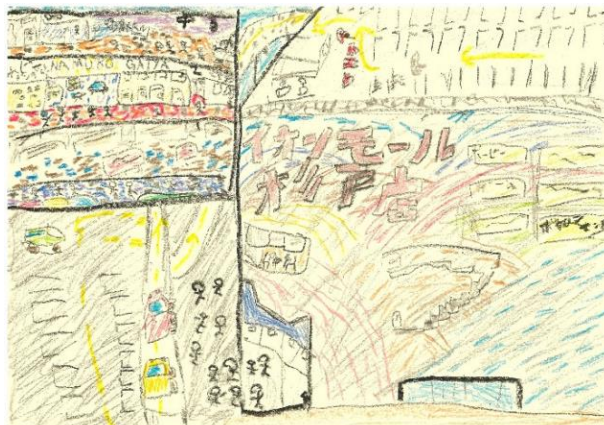
杉戸町の魅力（強み）	「困ったな」「残念だな」と思ったこと
【保育】 ・ 病児保育が利用できて良かった。但し登録が必要	
【教育】 ・ 中3修学旅行はコロナ禍で行けなかったが、東武動物公園を貸し切りで思い出づくりをした ・ 小中学校にクーラーがついたのが早かった	【学校関係】 ・ 給食があるのは良いが、子どもにこれが足りているのかわからない ・ 車の運転手から見て、どこが通学路かわからないため明示した方が良い。細い道ならより提示してほしい ・ 通学が遠いところがある ・ 学校の合併で遠くなってしまっている。親からすると心配の材料
【子育て施設】 ・ 児童館がいくつかあって遊べる ・ 児童館があること。特にひまわりが良い	【子育て施設】 ・ 学童の単発利用の申し込みが難しい。ファミサポなどはあるが、学童の単発利用はできないのか
【医療費】 ・ 医療費が無料なため、中3まで助かった ・ 子育て中の時は医療費無料の対象は中3までだったが現在は高3までに拡張している	【医療費】 ・ 医療費の無償化の対象を20才までにしてほしい ・ 高1からはニキビや歯、眼などにかかわる医療機関の需要がある ・ 医療費負担がきつい
【景観】 ・ 田んぼが多く、のどかなまち	【居住環境】 ・ 災害で逃げるところの土地が低い ・ 近くに買い物をする場所が無いため、移動スーパーを路地まで細分化させたい
	【交通】 ・ 車が無いと行動できない ・ 巡回バスが土日休みなため困る
	【観光】 ・ 宿場町なのに宿がない

② 将来像（メンバーが考えたキーワードから抽出したグループキャッチフレーズ）

- ・ 小さい街だからできる、きめ細やかなサポート
- ・ 安心して暮らせるまち
- ・ 今までどおりフツターの町
- ・ 「フツター」は難しい
- ・ 住みやすい助け合える町
- ・ 気軽にいろんなことをできるまち！
- ・ やりたいことができるまち

子どもたち

親子でご参加いただいたお子様にも「こんな杉戸町になったらいいな」というテーマで画用紙に絵を描いていただきました。



■当日の様子

・グループワーク



・各班発表、シール投票、全体





・お子様ブース



(4) 事業所ワークショップ

■結果

① 杉戸町の現状

杉戸町の魅力（強み）	「困ったな」「残念だな」と思ったこと
【人柄良い】 ・行政・住民、魅力的な人が多い	
【住みやすい】 ・自然豊かで暮らしやすい ・人口少ないのもコンパクトで良い	
【まだまだ可能性がある】 ・やる気ある町民が多い ・可能性を掘り出せる要素がたくさんある ・元気な高齢者がたくさんいる ・若い人が挑戦できる ・まだ未完成な町なので、開拓できる	
【子育て】 ・のんびり子育てしやすい	
	【商売】 ・八百屋など専門店が減っている。一方でチャンスにもなる（専門性特化する） ・若者、ベテランの使われ／使い方が課題 ・駐車場が限られているのは困る ・後継不足 ・商店会メンバーの固定化＋高齢化しているため活気が少ない

② 将来像（メンバーが考えたキーワードから抽出したグループキャッチフレーズ）

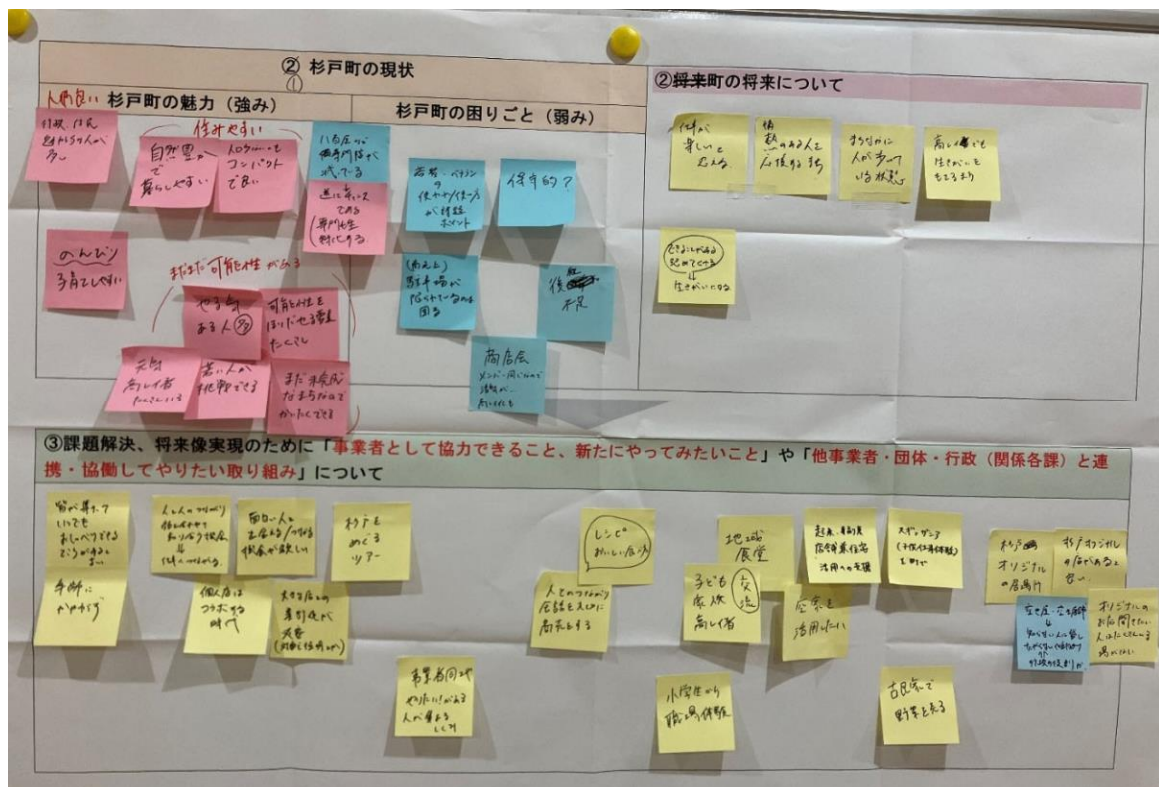
・仕事が楽しいと思える ・情熱のある人を応援するまち ・まちなかに人が歩いている状態 ・高齢でも生きがいを持てるまち ・できることがある、認めてくれる ⇒ 生きがいになる

③ 課題解決、将来像実現のために「自分たちが出来ること」や「地域・団体・組織で協力できること」

【場づくり】 ・年齢にかかわらず、皆が集まっていつでもおしゃべりできる所があると良い ・人と人のつながり、顔を合わせて知り合う機会が仕事につながる ・面白い人と出会える／つながる機会が欲しい ・事業者同士や、やりたい！がある人が集まるしくみ ・地域食堂 ・子ども、家族、高齢者の交流 ・杉戸オリジナルの居場所 【観光】

- ・杉戸をめぐるツアーがあると良い
 - ・杉戸オリジナルの店があると良い
- 【商業】
- ・個人店はコラボする時代になっている
 - ・大きな店との差別化が必要（対面で接客など）
 - ・人とのつながり会話を大切に商売をする
 - ・野菜を単に売るだけでなく、レシピ、おいしい食べ方を伝授する
 - ・古民家で野菜を売る
- 【起業支援・職業体験】
- ・起業・副業、店舗兼住宅活用への支援
 - ・空き家を活用したい
 - ・スギッザニア（子供仕事体験）を町で
 - ・小学生から職場体験
 - ・オリジナルのお店開きたい人はたくさんいる。場がない
 - ・空き家や空き店舗は多いが、知らない人に貸したがない傾向がある。仲介を行政に行ってほしい

■模造紙記録



■当日の様子



4. 資料編

(1) 10代ワークショップ



第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画策定に向けた

まちづくりワークショップ

(10代対象)

2024年7月24日(水)15:00～17:00
@杉戸町コミュニティセンター

1

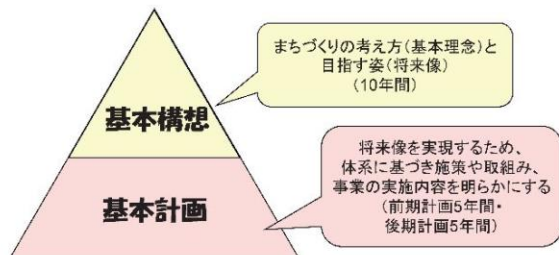
ミニ授業

1. 総合振興計画とは

3

総合振興計画の構成

総合振興計画は、基本構想・基本計画からなり、
今年度は**後期基本計画**を策定しています。



5

ミニ授業

1. 杉戸町の現状について

7

■本日の流れ

※適宜休憩があります

1. 杉戸町の現状について(ミニ授業) ■15:05～
2. グループワーク ■15:20～
 - ①進め方の説明
 - ②意見交換
 - ・杉戸町の現状や魅力・課題について
 - ・将来像の検討
 - ・必要な取り組みの検討
3. 成果発表・質疑応答 ■16:30～
4. 終わりに ■16:57～

2

総合振興計画とは

杉戸町を

どんな「まち」にするか
10年先の目指すべき姿を
描いた計画

4

総合振興計画について

より多くの市民の皆さんと
一緒に計画づくりを進めるために、
様々な手法でご意見を聴取しています。



「こんな杉戸町になったらいいな」
を一緒に考え、総合振興計画に活かしていきたい。

6

人口動態

突然ですが…

クイズ



杉戸町では一昨年(2022年)
何人の子どもが生まれているでしょう？

～ヒント～💡

埼玉県全体では、
一昨年(2022年)に45,099人生まれています。

A. 193人

B. 337人

8

人口動態

正解は…



① です！

杉戸町の総人口は2022年で約② 万人！

生まれている人数が① 人って多く感じますか？少なく感じますか？

ちなみに、皆さんが生まれた年には③ 人が生まれています。

④ 人も差がありますね！

住民基本台帳 参照 9

出生率の比較

合計特殊出生率とは…15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計した値。

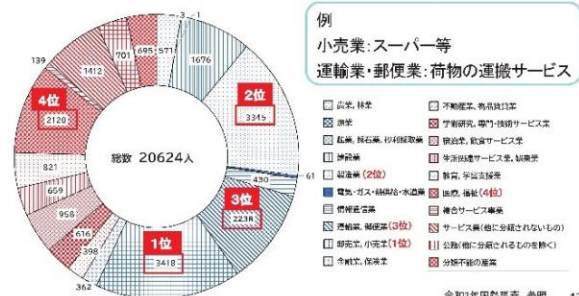
令和4年 合計特殊出生率(埼玉県内市町村の状況)



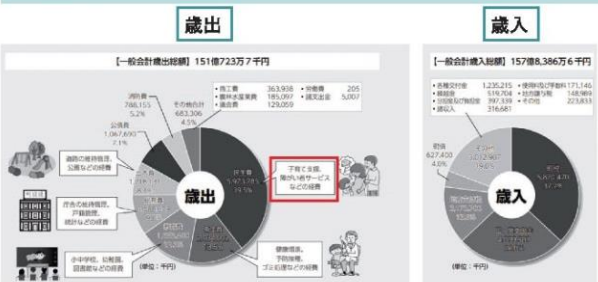
産業

町内の産業別就業者は

1位「卸売業・小売業」、2位「製造業」、
3位「運輸業・郵便業」、4位「医療・福祉」となっています。



令和4年度 決算状況



・歳出額をみると、民生費(子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉)の額が高くなっています。今後高齢化が進むにつれ、さらに民生費の割合が高くなることが予想されます。

人口動態



・総人口は年々減少していて、平成30年から現在まで1,264人減っています。
・高齢化率は年々上昇していて、令和5年では約3人に1人が高齢者です。

10

年齢別転入超過者数

転入超過数とは…転入者数から転出者数を差し引いた数です。



・転入超過者数を年齢別にみると、20～24歳の進学期が大幅に転入超過となっていますが、25歳～のいわゆる子育て世代が転入超過の傾向となっています。

町内の特産物



・米(コシヒカリ)
・丸系八つ頭(マルケイヤツガシラ)
・柿(早生次郎)
・シクラメン

杉戸町HP 参照 14

ミニ授業

2.アンケート調査結果

アンケート

第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画を策定にあたり、町民の皆様のご意見を聴取する目的で、アンケート調査を実施しました。

	対象者数	回収率	調査方法
町民(18歳以上)	1,800	30.1%	郵送配布・回収(WEB可)
子育て世帯	500	40.0%	
中学生	734	47.0%	学校配布・WEB回答
高校生			郵送配布・回収(WEB可)
事業所	200	26.0%	郵送配布・回収(WEB可)

17

アンケート

町への不満

杉戸町への不満について、町民では「地域産業や商店街などに賑わい・活気がない」、子育て世代では「医療体制が不十分」、中学生では「買い物の便が悪い」が1位となっています。

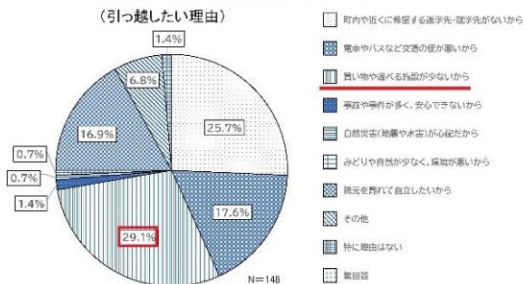
	町民	子育て世代	中学生
1位	地域産業や商店街などに賑わい・活気がない	医療体制が不十分	買い物の便が悪い
2位	医療体制が不十分	買い物の便が悪い	道路整備が不十分
3位	買い物の便が悪い	公共交通の便が悪い	地域産業や商店街などに賑わい・活気がない
4位	公共交通の便が悪い	地域産業や商店街などに賑わい・活気がない	公共交通の便が悪い
5位	道路整備が不十分	道路整備が不十分	医療体制が不十分

19

アンケート

引っ越したい理由(中学生)

「町外に引っ越したい」と回答した2割の人の引っ越したい理由として、最も多いのは、「買い物や遊べる施設が少ないから」となっています。



21

アンケート

将来住んでみたいと思う理想のまち(中学生)

将来住んでみたい理想のまちについて最も多いのは、「犯罪や災害の心配がないまち」となっています。



23

アンケート

町の魅力

杉戸町の魅力について、共通して「自然が豊かである」が1位でした。
(1～3位まで共通結果)

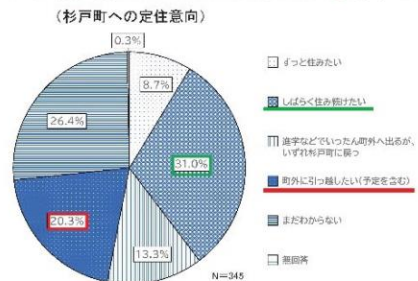
	町民	子育て世代	中学生
1位	自然が豊かである	自然が豊かである	自然が豊かである
2位	治安が良い	治安が良い	治安が良い
3位	災害に強い・災害が少ない	災害に強い・災害が少ない	災害に強い・災害が少ない
4位	住宅や居住環境が良い	隣近所の関係が良い	教育・文化環境が良い
5位	買い物の便が良い	住宅や居住環境が良い	隣近所の関係が良い

18

アンケート

定住意向(中学生)

中学生の杉戸町への定住意向は、約3割の人が「しばらく住み続けたい」と回答している一方、約2割の人が「町外に引っ越したい」と回答しています。



20

アンケート

杉戸町をより住みやすいまちにするために、力を入れて取り組むべきこと(中学生)

杉戸町をより住みやすいまちにするために、力を入れて取り組むべきことについて最も多いのは、「子どもがいる家族への支援」となっています。



22

2. グループワーク

■グループワークのテーマ(3ステップ)

ステップ①杉戸町の魅力や課題について

学校生活・放課後、
休日についてなど

- ・杉戸町の“お気に入り場所”や“おすすめポイント”について
また、杉戸町の“自慢できる”こと
- ・杉戸町で生活をするなかで“困っている”“不便だな”と思うこと
また、ミニ授業を聞いて“心配だな”と感じたこと

ステップ②将来像の検討

- ・“住み続けたい杉戸町”とはどのようなまちか

ステップ③必要な取り組みの検討

- ・将来像を実現するために必要な取り組みについて、未来の
杉戸町町長になったつもりでアイデア出し

25

■グループワークの方法

- 各テーブルに進行役が入ります。
- 意見は付箋に記入してください。
- 記入後、各検討ステップにおいてグループ内で共有します。

1つのふせんに
1つの意見
を書きます

26

■グループワーク(意見交換)の約束事

○相手の意見を否定しない

考え方は人によって違います。
さまざまな立場からの意見や問題意識を拾い
上げることが重要であるため、自分とは異なる
意見でも、まずは受け止めましょう。

○ほかの人の意見をよく聞く

意見交換は、自分の主張だけ
ではなく、相手の話や意見を
よく聞いたうえで、言葉の
キャッチボールを心がけましょう。

27

(2) 町民ワークショップ



第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画策定に向けた

まちづくりワークショップ

2024年8月24日(土)午前
@杉戸町コミュニティセンター

1

■本日の流れ

※適宜休憩があります

1. 杉戸町の現状について(ミニ授業) ■10:05～
2. グループワーク ■10:20～
 - ①進め方の説明
 - ②意見交換
 - ・杉戸町の魅力や課題について
 - ・将来像の検討
 - ・必要な取り組みの検討
3. 成果発表・質疑応答 ■11:35～
4. 終わりに ■11:57～

2

総合振興計画とは

杉戸町を

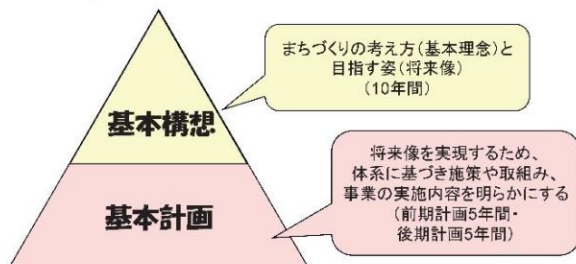
どんな「まち」にするか
10年先の目指すべき姿を
描いた計画

3

4

総合振興計画の構成

総合振興計画は、基本構想・基本計画からなり、
今年度は**後期基本計画**を策定しています。



5

将来像

第6次杉戸町総合振興計画の将来像は

みんなで育てるまち すぎと
～自然とやさしさがあふれるまちへ～

6

総合振興計画について

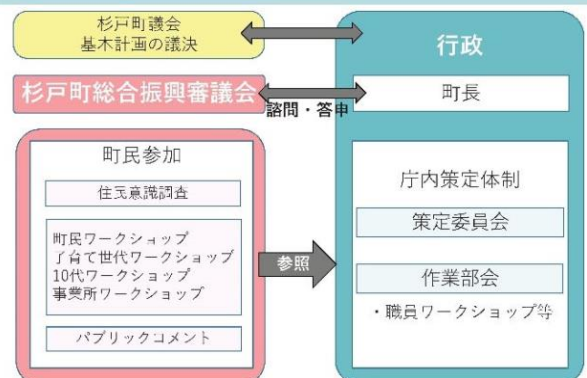
より多くの町民の皆さんと
一緒に計画づくりを進めるために、
様々な手法でご意見を聴取しています。



「こんな杉戸町になったらいいな」
を一緒に考え、総合振興計画に活かしていきたい。

7

策定体制



8

ミニ授業 2. 協働の重要性について

9

②協働とは...

そこで...

人口減少社会が進んでいる一方で、新しい社会サービスが求められる中で、共通の課題解決や目標に向かい、**町民・地域コミュニティ・町民公益活動団体・事業者及び行政**がそれぞれの役割を分担して連携、協力することが重要です。

協働での取り組みが**社会全体の成長につながります**



11

人口動態

突然ですが...
クイズ

2040年の杉戸町の高齢化率は何%になると見込まれているでしょう。

ヒント

埼玉県2040年の高齢化率は**33.3%**と見込まれています。

13

人口動態

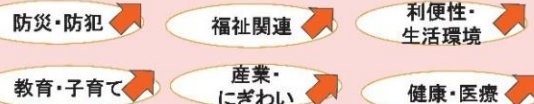


- ・総人口は年々減少していて、平成30年から現在まで**1,264人**減っています。
- ・高齢化率は年々上昇していて、令和5年では**約3人に1人**が高齢者です。

15

②協働とは...

複合化する社会課題、町民ニーズ



少子高齢化・人口減少・価値観の多様化による
地域機能低下 事業者活力低下 行政機能低下

生活や活動が維持できなくなる！！

10

ミニ授業 3. 杉戸町の現状について

人口動態

正解は...

です！

2023年の杉戸町の高齢化率は② %です。

17年後には高齢化率が③ %上昇すると予想されています。

杉戸町高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画
第9期埼玉県高齢者支援計画 参照

14

出生率の比較

合計特殊出生率とは...15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計した値。

令和4年 合計特殊出生率(埼玉県内市町村の状況)

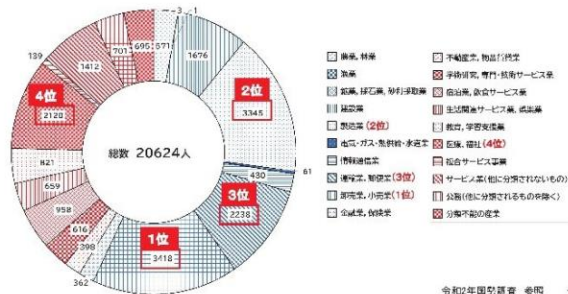


令和4年 埼玉県中 16

産業

町内の産業別就業者は

1位「卸売業・小売業」、2位「製造業」、
3位「運輸業・郵便業」、4位「医療・福祉」となっています。



令和2年国勢調査 参照 17

町内の特産物



- ・米(コシヒカリ)
- ・丸系八つ頭(マルケイヤツガシラ)
- ・柿(早生次郎)
- ・シクラメン

杉戸町HP 参照 18

令和4年度 決算状況

歳出



歳入



・歳出額をみると、民生費(子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉)の額が高くなっています。今後高齢化が進むにつれ、さらに民生費の割合が高くなること予想されます。

令和4年度決算状況 19

ミニ授業 3.アンケート調査結果

アンケート

第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画を策定にあたり、町民の皆様のご意見を聴取する目的で、アンケート調査を実施しました。

	対象者数	回収率	調査方法
町民(18歳以上)	1,800	30.1%	郵送配布・回収(WEB可)
子育て世帯	500	40.0%	
中学生	734	47.0%	学校配布・WEB回答
高校生			郵送配布・回収(WEB可)
事業所	200	26.0%	郵送配布・回収(WEB可)

21

アンケート

町の魅力

杉戸町の魅力について、3種類とも上位3つは共通する結果でした。

	町民	子育て世代	中高生
1位	自然が豊かである	自然が豊かである	自然が豊かである
2位	治安が良い	治安が良い	治安が良い
3位	災害に強い・災害が少ない	災害に強い・災害が少ない	災害に強い・災害が少ない
4位	住宅や居住環境が良い	隣近所の関係が良い	教育・文化環境が良い
5位	買い物の便が良い	住宅や居住環境が良い	隣近所の関係が良い

22

アンケート

町への不満

杉戸町への不満について、町民では「地域産業や商店街などに賑わい・活気がない」、子育て世代では「医療体制が不十分」、中高生では「買い物の便が悪い」が最も高いです。

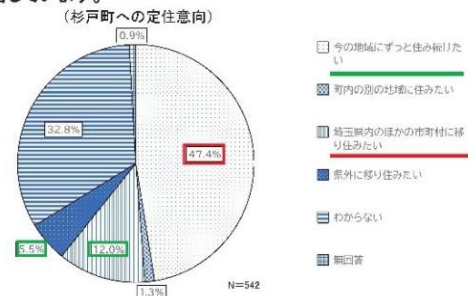
	町民	子育て世代	中高生
1位	地域産業や商店街などに賑わい・活気がない	医療体制が不十分	買い物の便が悪い
2位	医療体制が不十分	買い物の便が悪い	道路整備が不十分
3位	買い物の便が悪い	公共交通の便が悪い	地域産業や商店街などに賑わい・活気がない
4位	公共交通の便が悪い	地域産業や商店街などに賑わい・活気がない	公共交通の便が悪い
5位	道路整備が不十分	道路整備が不十分	医療体制が不十分

23

町民アンケート結果

定住意向

杉戸町への定住意向は約5割の人が「今の地域にずっと住み続けたい」と回答している一方、約2割の人が「埼玉県内他自治体か県外に移り住みたい」と回答しています。



24

町民アンケート結果

転出先を選ぶ着眼点

「埼玉県の他自治体や県外に引っ越したい」と回答した2割の人の転出先を選ぶ着眼点で最も多いのは、「**交通の便が良い**」となっています。

(転出先を選ぶ着眼点)



(資料編)町民アンケート結果

デジタル化

デジタル化のための取り組みとして

重点を置くべきだと思うもの (N=1482)

1位	インターネットからの申請により、届出や申請のために窓口に出向くことが不要になること	20.0%
2位	災害発生時の緊急情報受信、被害・安否情報のやりとり	15.9%
3位	情報セキュリティの強化による情報漏洩防止	13.6%

人口減少対策

人口減少時代に応じたまちづくりを進めるため、力を入れるべき取り組み (N=1033)

1位	結婚・出産・子育て支援の充実	24.6%
2位	医療・福祉サービスの充実	17.6%
3位	良好な住環境の整備	10.4%

行政サービス

行政サービスや施設において、優先的・重点的に取り組むべきだと思うもの (N=1470)

1位	地域医療体制の充実	10.3%
2位	安心して出産や育児ができる環境づくり	8.7%
3位	高齢者福祉の推進	6.2%

行財政

行財政改革において重点を置くべき項目だと思うもの (N=905)

1位	町有地や公共施設などの町有財産の有効活用	25.5%
2位	申請、届出等窓口業務の簡素化、サービス向上	12.8%
3位	町職員の能力の向上	9.0%

■グループワークのテーマ(3本立て)

①杉戸町の魅力や課題について

- ・杉戸町で生活をするなかで、**効果を感じている「取り組み・施策」**や**杉戸町に住んで良かった**と感ずること、**他自治体に自慢できること**について
- ・杉戸町で生活をするなかで**「困っている」「不便だな」と**思うことまた、ミニ授業を聞いて**「心配だな」と**感じたこと

②将来像の検討

- ・一世代経ったときに杉戸町がどのようなまちであってほしいかについて

③必要な取り組みの検討

- ・将来像を実現するために仲間同士や個人でどのようなことをしてみたいか、連携・協働できそうか取り組みについて検討

■グループワーク(意見交換)の約束事

○相手の意見を否定しない

考え方は人によって違います。
さまざまな立場からの意見や問題意識を拾い上げることが重要であるため、自分とは異なる意見でも、まずは受け止めましょう。

○ほかの人の意見をよく聞く

意見交換は、自分の主張だけではなく、相手の話や意見をよく聞いたうえで、言葉のキャッチボールを心がけましょう。

(資料編)町民アンケート結果

子育て

子育て支援の取り組みとして重要だと思うもの (N=1038)

1位	子育て家庭への経済的負担の軽減	21.5%
2位	小児医療体制の充実	14.8%
3位	子どもの遊べる施設の充実(公園・運動場・児童館など)	10.2%

防犯

防犯まちづくりに特に必要だと思うもの (N=1936)

1位	防犯カメラや防犯灯の設置	22.0%
2位	警察による巡回パトロール	17.2%
3位	行政、警察からの犯罪・防犯情報の提供、注意喚起	12.4%

教育

教育の充実について必要だと思うもの (N=1036)

1位	基礎学力の定着及び向上	15.2%
2位	豊かな心や社会性の醸成	13.6%
3位	心身の健康づくりと体力の向上	12.2%

都市整備・環境

都市基盤や環境の取り組みとして重点を置くべきだと思うもの (N=1030)

1位	道路・河川・下水道などのインフラ整備・強化	39.8%
2位	公園などの憩い・安らぎの整備	22.7%
3位	植物や樹木などの自然環境整備	16.1%

2. グループワーク

■グループワークの方法

- 各テーブルに進行役が入ります。
- 意見は付箋に記入してください。
- 記入後、各検討ステップにおいてグループ内で共有します。

1つのふせんに
1つの意見
を書きます

(3) 子育て世代ワークショップ



第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画策定に向けた

まちづくりワークショップ (子育て世代対象)

2024年9月7日(土)10:00~11:30
@杉戸町コミュニティセンター

1

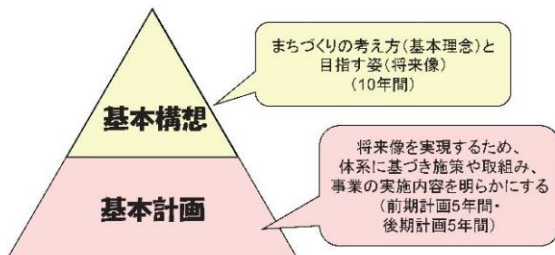
ミニ授業

1. 総合振興計画とは

3

総合振興計画の構成

総合振興計画は、基本構想・基本計画からなり、
今年度は**後期基本計画**を策定しています。



5

ミニ授業

1. 杉戸町の現状について

7

■本日の流れ

※適宜休憩があります

1. 杉戸町の現状について(ミニ授業) ■10:05~
2. グループワーク ■10:10~
 - ①進め方の説明
 - ②意見交換
 - ・杉戸町の現状や魅力・課題について
 - ・将来像の検討
 - ・必要な取り組みの検討
3. 成果発表・質疑応答 ■11:11~
4. 終わりに ■11:27~

2

総合振興計画とは

杉戸町を

どんな「まち」にするか
10年先の目指すべき姿を
描いた計画

4

総合振興計画について

より多くの町民の皆さんと
一緒に計画づくりを進めるために、
様々な手法でご意見を聴取しています。

各種
アンケート
調査

各種
ワークショップ

子育て世代
ワークショップ

「こんな杉戸町になったらいいな」
を一緒に考え、総合振興計画に活かしていきたい。

6

人口動態



・総人口は年々減少していて、平成30年から現在まで**1,264人**減っています。
・高齢化率は年々上昇していて、令和5年では**約3人に1人**が高齢者です。

8

■グループワークの方法

- 各テーブルに進行役が入ります。
- 意見は付箋に記入してください。
- 記入後、各検討ステップにおいてグループ内で共有します。

1つのふせんに
1つの意見
を書きます

17

■グループワーク(意見交換)の約束事

○相手の意見を否定しない

考え方は人によって違います。
さまざまな立場からの意見や問題意識を拾い
上げることが重要であるため、自分とは異なる
意見でも、まずは受け止めましょう。

○ほかの人の意見をよく聞く

意見交換は、自分の主張だけではなく、
相手の話や意見をよく聞いたうえで、言葉の
キャッチボールを心がけましょう。

18

(4) 事業所ワークショップ



第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画策定に向けた

まちづくりワークショップ (町内事業者対象)

2024年9月11日(水)18:00~19:15
@杉戸町コミュニティセンター

1

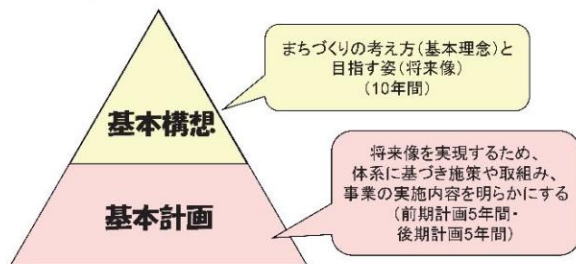
ミニ授業

1. 総合振興計画とは

3

総合振興計画の構成

総合振興計画は、基本構想・基本計画からなり、
今年度は**後期基本計画**を策定しています。



5

ミニ授業

1. 杉戸町の現状について

7

■本日の流れ

1. 杉戸町の現状について(ミニ授業) ■18:05~
2. グループワーク ■18:10~
 - ①進め方の説明・自己紹介
 - ②意見交換
 - ・杉戸町の現状や魅力・課題について
 - ・杉戸町の将来の検討
 - ・必要な取り組み、協働の検討
3. 全体総括、質疑応答 ■19:07~
4. 終わりに ■19:12~

2

総合振興計画とは

杉戸町を

どんな「まち」にするか
10年先の目指すべき姿を
描いた計画

4

総合振興計画について

より多くの町民(関係者含め)の皆さんと
一緒に計画づくりを進めるために、
様々な手法でご意見を聴取しています。



「こんな杉戸町になったらいいな」
を一緒に考え、総合振興計画に活かしていきたい。

6

人口動態



- ・総人口は年々減少していて、平成30年から現在まで**1,264人**減っています。
- ・高齢化率は年々上昇していて、令和5年では**約3人に1人**が高齢者です。

8

年齢別転入超過者数

転入超過数とは…転入者数から転出者数を差し引いた数です。



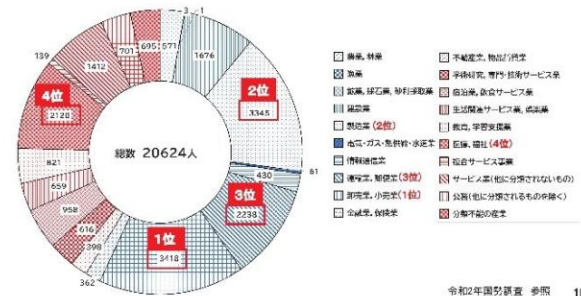
・転入超過者数を年齢別にみると、20～24歳の進学期が大幅に転入超過となっていますが、25歳～のいわゆる子育て世代が転入超過の傾向となっています。

令和5年 住民基本台帳移動報告 9

産業

町内の産業別就業者は

1位「卸売業・小売業」、2位「製造業」、
3位「運輸業・郵便業」、4位「医療・福祉」となっています。



令和2年国勢調査 参照 10

アンケート

第6次杉戸町総合振興計画後期基本計画を策定にあたり、町民の皆様のご意見を聴取する目的で、アンケート調査を実施しました。

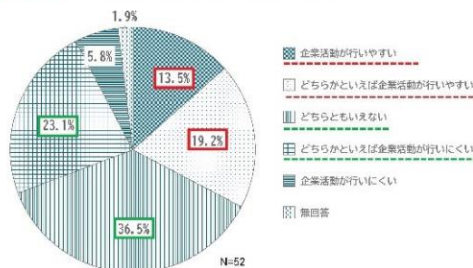
	対象者数	回収率	調査方法
町民(18歳以上)	1,800	30.1%	郵送配布・回収(WEB可)
子育て世帯	500	40.0%	
中学生	734	47.0%	学校配布・WEB回答
高校生			郵送配布・回収(WEB可)
事業所	200	26.0%	郵送配布・回収(WEB可)

12

アンケート

事業のしやすさ

『杉戸町は全体的に企業活動が行いやすい地域だと思いますか』という問いに対し、約3割の「行いやすい」と回答している一方で、「どちらともいえない、行いにくい、」という回答は約6割となっています。

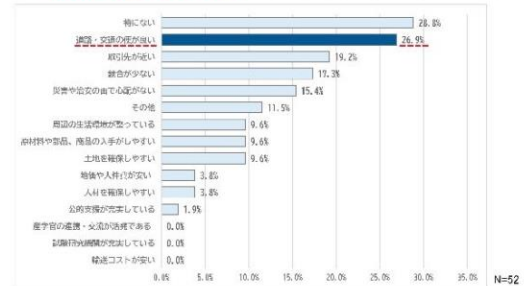


13

アンケート

杉戸町で企業活動を行うメリット

『杉戸町で企業活動を行うメリットは何ですか。』という問いに対し、特になければ、約3割の「行いやすい」と回答している一方で、「どちらともいえない、行いにくい、」という回答は約6割となっています。

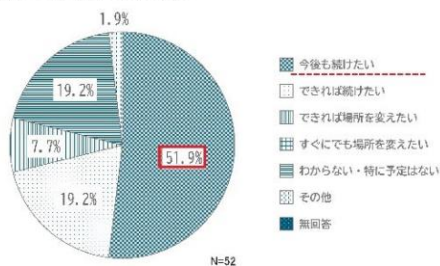


14

アンケート

杉戸町での事業継続意向

『今後も現所在地で事業を続けたいと思いますか。』という問いに対し、約半数の方が「今後も続けたい」と回答しており、杉戸町での事業継続の意思があることがわかりました。



15

2. グループワーク

16

■グループワークのテーマ(3ステップ)

ステップ①杉戸町の魅力や課題について

- ・杉戸町を事業拠点に選んだ理由(魅力・利点)や事業を展開するうえで、他自治体に勝っていると感じる町の特色、産業振興等に関する“「施策・取り組み」”について(強み)
- ・杉戸町で事業を展開するうえで、“「困ったな、心配だな」と思う点”や改善してほしいことについて(弱み)

ステップ②将来像の検討

- ・産業振興やまちの活性化、町内での事業運営継続に向けて杉戸町がどのようなまちであってほしいか

ステップ③必要な取り組みの検討

- ・事業者として協力できる取り組みや新たにやってみたいこと
他事業者・団体・行政(関係各課)と連携・協働できること

17

■グループワークの方法

- ワークには進行役が入ります。
- 意見は付箋に記入してください。
- 記入後、各検討ステップにおいて共有します。

1つのふせんに
1つの意見
を書きます

18

■グループワーク(意見交換)の約束事

○相手の意見を否定しない

考え方は人によって違います。
さまざまな立場からの意見や問題意識を拾い
上げることが重要であるため、自分とは異なる
意見でも、まずは受け止めましょう。

○ほかの人の意見をよく聞く

意見交換は、自分の主張だけではなく、
相手の話や意見をよく聞いたうえで、言葉の
キャッチボールを心がけましょう。

19